

研究機関名：東北大学

受付番号：2016-1-175	
研究課題名 ヒト脳腫瘍におけるがん関連遺伝子異常の網羅的検討	
研究期間	西暦 2011 年 6 月（倫理委員会承認後）～ 2021 年 3 月
対象材料	
■病理材料（対象臓器名 脳 ）	
■生検材料（対象臓器名 脳 ）	
■血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
上記材料の採取期間	西暦 2004 年 7 月～ 2021 年 3 月
意義、目的	
近年の医学研究の進歩により、癌は遺伝子異常（癌遺伝子、癌抑制遺伝子）の蓄積により生じることが明らかになり、遺伝子異常の発生に影響を及ぼす遺伝子異常の存在も明らかになってきました。原発性脳腫瘍においてもがん遺伝子、がん抑制遺伝子異常の解析が進みその発生・進展に関する知見が得られつつあります。これらの解析の最終目標は分子生物学的な所見に基づく、腫瘍の分類、治療方針の決定、予後の予測ですが、現時点で我々が得ている知見からは目標には到達していないのが現状です。本研究により原発性脳腫瘍の診断、治療について新たな知見が得られ、脳腫瘍の発生、進展の機序の解明、新たな治療戦略の開発の糸口が得られるものと期待しています。	
方法	
東北大学病院脳神経外科で加療を受けた患者さんが対象となります。これまでに同意が得られ、登録されていた患者さんの腫瘍組織・血液から DNA, RNA を抽出し、原発性神経膠腫に関連する既知の遺伝子点変異、染色体欠失・増幅の検討、治療反応性に関係すると報告されている RNA やタンパク発現量を含めた網羅的解析を予定しています。	
問い合わせ等の窓口	
研究機関名：東北大学大学院医学系研究科 神経外科学分野	
電話：022-717-7230、FAX：022-717-7233	
担当者氏名：金森政之 e-mail：mkanamori@med.tohoku.ac.jp	
斎藤竜太 e-mail：ryuta@nsg.med.tohoku.ac.jp	